

29第5号陳情 核兵器禁止条約に参加し批准するよう政府に意見書を提出することを
求める陳情

受 理 年 月 日 平成29年8月25日

陳 情 者 東大和市上北台3-355-4

東大和9条の会

代表呼びかけ人 荒瀬 牧彦

東大和市蔵敷3-691-2 芝中住宅口2-501

東大和9条の会

事務局長 鳥谷 靖

付託する委員会 総務委員会

陳情趣旨

全ての戦争の防止とあらゆる核兵器の廃絶を願って平和都市宣言を行った東大和市の市議会として、本年、国連で採択された「核兵器禁止条約」に早急に参加し批准するよう政府に意見書を提出してください。

陳情理由

1. 本年（2017年）7月7日、国連で、史上初めて、核兵器を違法化する国際条約である「核兵器禁止条約」が、加盟国の3分の2に当たる122カ国の賛成により採択されました。この条約は、非締約国を含む全ての国に対して参加の道が開かれています。
2. この条約は、コスタリカ・マレーシア両政府の共同提案として、2007年4月に国連に提出されたものです。その後、核兵器の全廃と根絶を目的に10年余の検討を経て練り上げられ、核兵器の開発・実験・製造・備蓄・移譲・使用、並びに使用の威嚇を禁じたものとなっています。日本原水爆被害者団体協議会は、「72年間、被爆者が求め続けてきた核兵器廃絶のために（前略）核兵器禁止条約の採択は、誠に大きな喜びです。（中略）核兵器が廃絶されるまで、世界の市民社会の皆さんと共に歩き続けましょう。」（2017年7月8日）との声明を出しました。
3. 東大和市は、1990年10月、「恒久平和の実現と、核兵器の廃絶は、全人類共通の願望である。（中略）世界で唯一の核被爆国の国民として、また、国際社会の平

和と協調を理念とする憲法をもつ国の国民として、人類の安全と幸福のために、地域紛争を含むすべての戦争の防止と、あらゆる核兵器の廃絶を心から願うものである。(後略)」とする「平和都市宣言」を採択しています。

4. 東大和市も加盟する「平和首長会議」は、本年8月、長崎市で開催された総会において、核保有国を含む全ての国の政府に対し、核兵器禁止条約に参加することを求める「ナガサキアピール」を採択しています。同会議は、本年8月1日現在、世界162カ国・地域7,417都市により構成されています。